



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年2月5日

上場会社名 株式会社ヤマックス 上場取引所 東
 コード番号 5285 URL <https://www.yamax.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 茂森 拓
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 長岡 純生 TEL 096-381-6411
 四半期報告書提出予定日 2021年2月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	13,572	16.4	551	66.8	554	63.9	338	67.4
2020年3月期第3四半期	11,664	△2.1	330	15.5	338	17.2	202	17.6

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 392百万円 (88.4%) 2020年3月期第3四半期 208百万円 (49.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	69.19	—
2020年3月期第3四半期	41.17	—

(注) 当社は、2020年7月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行ったため、1株当たり四半期純利益につきましては、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	13,970	4,929	35.1
2020年3月期	13,260	4,653	35.1

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 4,905百万円 2020年3月期 4,653百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	60.00	60.00
2021年3月期	—	0.00	—	—	—
2021年3月期（予想）	—	—	—	14.00	—

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2. 当社は、2020年7月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行ったため、2021年3月期（予想）の1株当たり期末配当金については、当該株式分割の影響を考慮した金額を記載し、年間配当金合計は「—」として記載しております。株式分割を考慮しない場合の2021年3月期（予想）の1株当たり期末配当金は70円となり、1株当たり年間配当金も70円となります。詳細については、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,560	7.9	580	40.6	580	31.4	370	63.0	75.22

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

2. 当社は、2020年7月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行ったため、2021年3月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益については、当該株式分割の影響を考慮しております。詳細については、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期3Q	5,790,000株	2020年3月期	5,790,000株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	991,250株	2020年3月期	870,980株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期3Q	4,899,614株	2020年3月期3Q	4,919,020株

(注) 1. 期末自己株式数には、株式給付信託（BBT）が保有する当社株式（2021年3月期3Q150,000株、2020年3月期3Q150,000株）が含まれております。また、期中平均株式数には、その計算において控除する自己株式に当該株式を含めております。なお、2021年3月期3Q及び2020年3月期3Qにおける当該株式の期中平均株式数は、それぞれ150,000株及び71,455株であります。

2. 当社は、2020年7月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行ったため、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数につきましては、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(株式分割後の配当及び連結業績予想について)

当社は、2020年5月25日開催の当社取締役会において株式分割を決議し、2020年7月1日を効力発生日として、普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。なお、株式分割考慮前に換算した2021年3月期の配当予想及び連結業績予想は以下のとおりとなります。

1. 2021年3月期の配当予想
1株当たり配当金 期末 70円00銭 (注)
2. 2021年3月期の連結業績予想
1株当たり四半期（当期）純利益 通期 376円10銭

(注) 株式分割考慮前に換算した配当額であります。

なお、2021年3月期の年間配当金（株式分割考慮前）は70円00銭となります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、全世界に拡がりを見せる新型コロナウイルスの影響により経済活動の停滞が継続しており、これに対して国ならびに各地方自治体を実施している消費喚起の施策も、感染拡大によって一部を停止せざるを得ない状況となるなど、景気の先行きにつきましては依然として厳しい状況にあります。

当社グループを取り巻く経営環境におきましては、社会資本の整備にて求められる各種効果を重視した公共事業投資による経済成長を図るため、公共事業予算を安定的、継続的に確保するとの国の方針により、2020年度の公共事業投資も前年度を上回る予算額で決定されております。当予算編成の基本的な考え方は、治水対策を中心とした防災・減災対策の強化や中長期的な成長の基盤となるインフラの整備など、激甚化・頻発化が懸念される自然災害から国民の生命と財産を守るための国土強靱化がその骨子を成しております。

このような状況のもと、当社グループは、前年度より継続して社会資本の整備に向けた具体策への情報収集に加え、国土強靱化に向けた防災・減災対策や道路・橋梁等の老朽化対策等への各地方自治体の動向に今以上の注視を重ねております。また、自然災害による被災地に対しましては、工事の進捗に合わせ必要とされるコンクリート二次製品の安定的な供給が与えられた責務であると受け止めております。

また、新型コロナウイルス感染拡大により営業活動が一部制約されたものの、当第3四半期連結累計期間の業績に与える影響は軽微であります。

この結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績につきましては、売上高は135億7千2百万円（前年同四半期比16.4%増）、営業利益は5億5千1百万円（前年同四半期比66.8%増）、経常利益は5億5千4百万円（前年同四半期比63.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は3億3千8百万円（前年同四半期比67.4%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①土木用セメント製品事業

当第3四半期連結累計期間における土木業界につきましては、平成28年熊本地震により被災した熊本県における復旧・復興工事は活発な時期を過ぎ穏やかな動きとなったものの、九州管内の土木関連工事は九州横断自動車道延岡線や国道3号植木バイパスの整備促進等により堅調に推移しております。

このような状況の中、九州地区及び東北地区の復旧・復興工事ににつきましては、工事発注状況に即したコンクリート二次製品の供給を最優先するとともに、新たな社会資本の整備に向けた具体的な動きにも注視を重ね、即応できる供給体制の構築に努めております。また、継続的なテーマである大型コンクリート構造物のプレキャスト化の推進につきましても、自社開発した製品や工法の普及拡大を中心に、意欲的な営業活動を推進しております。

この結果、売上高は104億1千7百万円（前年同四半期比24.4%増）、営業利益は8億6百万円（前年同四半期比49.9%増）となりました。

なお、当社グループの土木用セメント製品事業は、公共事業の発注と関連性があり、主として下半期（第3四半期連結会計期間及び第4四半期連結会計期間）に売上が集中するため、通常、第1四半期連結会計期間及び第2四半期連結会計期間の売上高は、他の四半期連結会計期間の売上高と比べて著しく低くなる傾向にあります。

②建築用セメント製品事業

当第3四半期連結累計期間における建築業界につきましては、国内景気の緩やかな回復基調に合わせ堅調な動きを見せていた建築需要も、新型コロナウイルスの感染拡大により、その終息時期とその後の経済状況が予測できないことから慎重な対応を強いられることとなり、民間需要の今後の動きについてさらなる注視が求められる状況となっております。

このような状況の中、既受注案件に対する製造効率を踏まえた製造工場の稼働体制の確立と、人手不足や工期短縮に対応できる建築用コンクリート二次製品の利点をゼネコンのみならず地場の建設業者へも広く積極的にアピールを重ね、納入実績の確保を目的とする営業活動にも努めております。

この結果、売上高は26億9千5百万円（前年同四半期比2.8%減）、営業利益は2億8千8百万円（前年同四半期比23.3%減）となりました。

③その他の事業

不動産関連事業におきましては、販売用土地の取得・開発をさらに拡大するとともに、住宅業界の今後を見据えた「高性能（ZEH）住宅」の販売によりアッパーミドル層の顧客獲得にチャレンジするなど、自社ブランド「さらりの家」の受注活動に注力しているものの、新型コロナウイルスの影響により、集客拠点としている住宅展示場への来場者数が大きく減少しております。

この結果、売上高は4億5千8百万円（前年同四半期比10.6%減）、営業損益は3千万円の損失（前年同四半期は5千3百万円の損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

総資産につきましては、前連結会計年度末に比べ7億1千万円増加の139億7千万円となりました。これは主に、現金及び預金が3億7千9百万円減少したものの、受取手形及び売掛金が10億3千1百万円、商品及び製品が9千6百万円それぞれ増加したことによるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ4億3千3百万円増加の90億4千万円となりました。これは主に、長期借入金が2億9千万円減少したものの、支払手形及び買掛金が5億7千8百万円、未払消費税が7千6百万円、預り金が6千4百万円それぞれ増加したことによるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ2億7千6百万円増加の49億2千9百万円となりました。これは主に、剰余金の配当6千万円や自己株式の取得5千5百万円などの減少要因があったものの、親会社株主に帰属する四半期純利益が3億3千8百万円となったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、現時点では2020年8月5日付の「業績予想の修正に関するお知らせ」にて公表いたしました予想値を据え置き、今後の市況や業績動向等を踏まえ修正が必要と判断した場合には速やかに開示することといたします。

なお、当社グループの土木用セメント製品事業は、公共事業の発注と関連性があり、主として下半期(第3四半期連結会計期間及び第4四半期連結会計期間)に売上が集中するため、通常、第1四半期連結会計期間及び第2四半期連結会計期間の売上高は、他の四半期連結会計期間の売上高と比べて著しく低くなる傾向にあり、今後も同様の理由により季節的変動が予想されることから、業績を判断する際には留意する必要があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,356,978	977,533
受取手形及び売掛金	3,207,540	4,238,607
商品及び製品	1,793,696	1,890,235
未成工事支出金	32,152	98,517
原材料及び貯蔵品	262,031	228,461
その他	172,294	163,430
貸倒引当金	△1,564	△1,549
流動資産合計	6,823,128	7,595,237
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,042,908	1,032,772
土地	3,478,545	3,478,545
その他(純額)	1,127,974	1,099,298
有形固定資産合計	5,649,428	5,610,616
無形固定資産	140,676	130,520
投資その他の資産		
投資有価証券	204,030	243,918
その他	505,962	451,855
貸倒引当金	△62,546	△61,462
投資その他の資産合計	647,445	634,310
固定資産合計	6,437,550	6,375,448
資産合計	13,260,678	13,970,685
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,318,805	4,897,641
短期借入金	1,520,032	1,561,549
未払法人税等	145,688	73,358
賞与引当金	118,771	78,738
役員賞与引当金	9,900	—
その他	631,369	885,888
流動負債合計	6,744,566	7,497,176
固定負債		
長期借入金	1,049,672	759,611
役員株式給付引当金	11,154	22,308
退職給付に係る負債	473,486	453,543
その他	328,132	308,133
固定負債合計	1,862,444	1,543,596
負債合計	8,607,011	9,040,772
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,752,040	1,752,040
資本剰余金	719,368	719,368
利益剰余金	2,500,312	2,778,479
自己株式	△271,871	△327,688
株主資本合計	4,699,849	4,922,199
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	44,596	61,704
退職給付に係る調整累計額	△90,777	△78,564
その他の包括利益累計額合計	△46,181	△16,859
非支配株主持分	—	24,573
純資産合計	4,653,667	4,929,912
負債純資産合計	13,260,678	13,970,685

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	11,664,225	13,572,045
売上原価	9,135,820	10,774,762
売上総利益	2,528,404	2,797,282
販売費及び一般管理費	2,197,558	2,245,354
営業利益	330,845	551,928
営業外収益		
受取利息	172	100
受取配当金	6,669	6,064
受取賃貸料	18,263	16,278
貸倒引当金戻入額	1,278	1,099
受取保険金	2,833	1,821
その他	8,368	6,576
営業外収益合計	37,585	31,940
営業外費用		
支払利息	18,105	13,807
手形売却損	3,975	4,372
その他	8,136	11,236
営業外費用合計	30,218	29,415
経常利益	338,213	554,453
税金等調整前四半期純利益	338,213	554,453
法人税、住民税及び事業税	108,889	159,620
法人税等調整額	26,797	31,268
法人税等合計	135,686	190,889
四半期純利益	202,527	363,563
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	24,568
親会社株主に帰属する四半期純利益	202,527	338,994

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	202,527	363,563
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4,101	17,108
退職給付に係る調整額	10,070	12,213
その他の包括利益合計	5,969	29,322
四半期包括利益	208,496	392,885
(内訳)		
非支配株主に係る四半期包括利益	—	24,568
親会社株主に係る四半期包括利益	208,496	368,316

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

季節的に変動する操業度により発生した原価差異は、原価計算期間末までにほぼ解消が見込まれるため、当該原価差異を流動資産（その他）として繰り延べております。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日 至2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	土木用セ メント製品	建築用セ メント製品	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	8,377,386	2,773,664	11,151,050	513,174	11,664,225	—	11,664,225
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	331	1,889	2,220	24	2,245	△2,245	—
計	8,377,718	2,775,553	11,153,271	513,199	11,666,470	△2,245	11,664,225
セグメント利益 又は損失(△)	538,395	375,736	914,132	△53,014	861,117	△530,272	330,845

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産関連事業及びサービス事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△530,272千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。なお、全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自2020年4月1日 至2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	土木用セ メント製品	建築用セ メント製品	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	10,417,799	2,695,636	13,113,436	458,609	13,572,045	—	13,572,045
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	4	1,689	1,693	—	1,693	△1,693	—
計	10,417,804	2,697,325	13,115,130	458,609	13,573,739	△1,693	13,572,045
セグメント利益 又は損失(△)	806,834	288,197	1,095,032	△30,341	1,064,690	△512,761	551,928

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産関連事業及びサービス事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△512,761千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。なお、全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。